

小中一貫教育推進だより



平成25年12月20日 No.32

十日町市教育委員会学校教育課



自信を持って 「今でしょ！」

学校教育課小中一貫教育推進係
嘱託指導主事 平野久美

先日、清水寺の森清範貫主が「今年の漢字」を揮毫している様子がテレビで放映されていました。今年の漢字は「輪」。毎年、こういったニュースが伝えられると、1年の最後の月、師走に入ったなと感じます。平成25年も、本当に残り少なくなりました。

さて、11月22日・23日と、「小中一貫教育全国サミット in つくば」に参加してきました。この仕事に就いて3年目。1年目の広島県呉市、2年目の京都市に続いて3回目の全国サミットへの参加です。最初は小中一貫教育のことが何も分からず、見るもの、聞くことすべてが驚きのようなサミット行きでしたが、3回目ともなると、少しは余裕を持って臨むことができました。また、23年度に「小中一貫教育つくば市大会」に参加したこともあり、その後の取組に興味もありました。当市と同様にほとんどの施設が分離しているつくば市。「つながる」 No.9に、「今後の取組を注目したい実践地の1つであると感じました。」と書いた覚えもあります。

今回の参加で一番感じたことは、「十日町市の取組はけっこういい」という嬉しい感想でした。限られた予算や人的配置の中、各中学校区では、先進地と比較しても引けをとらないほどの工夫された実践がなされていると思いました。

2番目は、「取組の質をさらに高める工夫の道が、まだまだ、ありそうだ」という期待が混じった、わくわくした感想でした。特に当市の今後の課題としての「職員の意識の共有」「指導計画」「保・幼・小・中・高の連携」にかかわる示唆が多く得られました。各中学校区で取り組むことができ、参考となりそうなものを次頁にまとめてみました。

3番目は、「意識変革を進めるには、形を刷新することも重要だ」という新たな発見ある感想です。「～中学校区」ではなく「～学園」等と名付けて取り組んでいる先進地がかなり多くありました。連携から一貫へと歩みを一歩進めるに当たって、今までの組織を刷新し、新たに別物を構築する。こういった発想も意識変革を進めることに大きく作用するのだろうと感じさせられました。

施設が分離している学校がほとんどの、十日町市の小中一貫教育、それも各中学校区の自由度が高い十日町型小中一貫教育の取組の良さを再発見し、今後も益々充実させていきたいものだと感じました。

次年度からは、本格実施です。自信をもってこれまで準備してきたことを実践して欲しいと願っています。そのための最終検討がこの時期から進められることと思います。この検討が次年度以降の実践の質を左右します。「いつやるの?」「今でしょ!」今年の流行語大賞語が後押ししてくれそうです。



＜施設分離の課題に対する工夫＞

当市のような学校施設が分離している小中一貫教育推進に伴う課題に、「打合せや移動時間の確保が難しい」「教員間の意識の共有と協働を図るのが難しい」ということが挙げられます。夏の研修会の際のアンケートにも「キーワードは共通理解」「これからの課題は多忙化解消」「一部の職員に負担がかかっている。そこに対応する策を」等の声が寄せられていました。これらの課題に対して、堺市「小中一貫教育の推進ガイドライン」の中に、以下のような内容が課題対策のヒントとして記載されています。

次年度の計画を検討する時期になりました。このヒント、中学校区の実態に即して是非、ご活用ください。



- ◆互いの打合せの時間が確保できない。
- ◆教職員間の共通理解・共通姿勢が図りにくい。
- ◆互いの学校を訪問する時間を確保できない。

- ・中学校区で校務分掌を統一する。
- ・年度当初に小中合同の会議等の日程を確定しておく。
- ・資料の交換など校務用パソコンを有効に活用する。
- ・会議や研修の会場を持ち回りにする。
- ・授業観察の視点を中学校区で統一する。
- ・合同研修のテーマを工夫する。
- ・グループウェアの「電子フォーラム※」を活用して中学校区の全教員で情報共有を行う。
- ・各校の参観、オープンスクール、学校行事の日程を年度当初に調整し、情報の共有を行う。

※当市で使用している校務支援ソフトの掲示板のようなもの

＜施設分離型の小中一貫教育の推進例＞

「小中一貫教育全国サミット」には、39の市町村教育委員会が連絡協議会会員として名を連ねています。つくば市の大会で得た、それら推進地域の施設分離型の取組情報を次頁に紹介します。参考にしてみてください。

参 考 視 点	市町村等
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を学園に ・領域・単元別学習内容系統表作成 ・生徒、基本的生活習慣系統表の作成 ・定期的な児童・生徒会交流 ・小・中合同の、長期休業中のきまりや月の目標の共有 ・小・中共通生徒指導記録の作成 ・校内研修で指導案に「小中一貫教育」の視点で記載欄を設定 ・小・中で研修目標の統一 ・定期的な合同職員会議や合同 PTA 通信 	つくば市 (茨城県)
<ul style="list-style-type: none"> ・遠足目的地会場で行う小小交流 	つくば紫峰学園
<ul style="list-style-type: none"> ・連携型小中高一貫教育 	鹿追町(北海道)
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導系統表 	譜代村(岩手県)
<ul style="list-style-type: none"> ・異校種1日体験 ・小5・6年、中1年との合同朝会(1・2学期に1回) ・子どもの交流活動は①希望参加型②役割分担型③全員参加型に整理 ・生活時程の調整(下校時刻を揃えた曜日の設定等) ・小・中で進める「学び合い」の授業改善、学習規律の設定 ・学習・キャリア教育指導系統表、つまずき表の作成 	譜代中学校区
<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の校長会フォーラム(中学校区毎の実践発表) 	新庄市(山形県)
<ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小・中一貫教育 ・社会参画活動の実施 	南陽市(山形県)
<ul style="list-style-type: none"> ・小6年の春休みの課題の共有 ・小中一貫教育授業参観のしおりを作成 	八潮市(埼玉県)
<ul style="list-style-type: none"> ・0歳～幼・保・小・中迄の連携・一貫教育 ・アプローチ・スタートカリキュラムの作成(保・幼・小接続) 	鴨川市(千葉県)
<ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小・中教科カリキュラムの作成 	南足柄市(神奈川県)
<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくスタート」カリキュラムの作成(保・幼・小接続) 	柏原市(大阪府)
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等への公開小中一貫教育推進期間(小中一貫ウイーク)の設定 	姫路市(兵庫県)
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区毎の小中一貫カリキュラムを作成 ・ブロック別学校経営研修(管理職のリーダーシップ向上研修) ・学校関係者評価委員に小中共通委員を選定 	呉市(広島県)
<ul style="list-style-type: none"> ・ジョイントカリキュラム・単元シートを作成(弱点对応) ・小中共通指導過程の設定(「教えて」→「考えさせて」→「分からせて」→「できる」) 	芦屋町(福岡県)
<ul style="list-style-type: none"> ・「学園教育」(所属感のあるまとまりの構築。愛称名・シンボルマークの設定) ・たての一貫(学校間)とよこの一貫(地域ぐるみ)の構想 ・幼・保・小接続カリキュラムの作成 	松江市(島根県)
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の小中一貫教育推進連絡会(市事務局、代表管理職、各校小中一貫教育推進担当者)や小中一貫教育中学校区運営会議の実施 	箕面市(大阪府)



小中一貫教育にかかわる1月の活動予定



毎月ここに掲載している活動予定は、どなたでもその活動を見ていただけるように紹介しているものです。時間を見つけて、ぜひお出掛けください。その際には、当該学校へ一声掛けてからお出掛けください。

日 時 <内容>	会 場	見 どころ
12月24日(火) ～7日(火) <家読運動強調期間>	拡大中学校区	・拡大中学校区では、毎月第3日曜日の「家庭の日」に家族で読書をする「家読運動」を進めています。冬期休業期間を強調期間とし、家族で本を読んでコミュニケーション、「家族の絆づくり」に役立っています。
8日(水) <交流活動> 11:30～12:00	下条小学校 多目的ホール	・下条中学校区では、3学期から下条小学校の改築に伴い、小・中接続された新校舎での生活が始まります。小・中学生が一堂に会して「こんにちは新校舎の会」を実施し、校舎完成を喜び合います。
15日(水) ～28日(火) < 家庭学習強調旬間>	拡大中学校区	・拡大中学校区では、小・中共に家庭学習強調旬間に取り組んでいます。2回目の今回は、3学期始めの2週間です。
21日(火) <交流活動> 14:05～14:50	水沢小学校	・水沢中学校区では、みずばしょう交流と名付けた小・小交流を実施しています。今回は、小学6年生が水沢小学校に集まり、「思春期の心と体の変化」について学びます。講師は、たかき医院の仲栄美子先生です。当日は水沢小の授業参観日で、馬場小の6年生保護者にも案内をしています。
中～下旬 <会議>	中里中学校区 班長所属校	・中里中学校区では、全職員が6つの班のいずれかに所属して小中一貫教育を進めています。各班毎に各種アンケート結果をもとに今年度の活動の総括と次年度の方向性の検討をする班会議を実施します。
下旬 <交流活動> 午後	吉田クロスカン トリー競技場	・中里中学校区では、郡市親善スキー大会に向けて、小学5・6年生合同クロスカンスキー練習を、大会会場で実施します。